

注3

大学番号：私095

[平成25年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

創価大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人創価大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 看護学部事務室

職名・氏名 事務長・竹^{タケ}田^タ文^{フミ}久^{ヒサ}

電話番号 042-691-9495

（夜間） 090-6195-1639

F A X 042-691-8506

e-mail kango@soka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人創価大学

(2) 大学名

創価大学

(3) 大学の位置

〒192-8577

東京都八王子市丹木町一丁目236番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タシロ ヤスノリ) 田代 康則 (平成16年4月)		
学長	(ヤマモト ヒデオ) 山本 英夫 (平成19年4月)	(ババ ヨシヒサ) 馬場 善久 (平成25年4月)	任期満了に伴う変更、平成25年4月1日 (25)
学部長	(ナカイズミ アキヒコ) 中泉 明彦 (平成25年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
平成27年度に報告する内容 → (27)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	0人 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	1.06倍	倍	
志願者数	() []	() []	276 () []	— () []	450 () []	— () []	529 () []	— () []			
受験者数	() []	() []	268 () []	— () []	445 () []	— () []	525 () []	— () []			
合格者数	() []	() []	99 () []	— () []	141 () []	— () []	158 () []	— () []			
B 入学者数	() []	() []	83 () []	— () []	82 () []	— () []	92 () []	— () []			
入学定員超過率 B/A			1.03		1.02		1.15				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) 83	[—] (—) —	[1] (—) 82	[—] (—) —	[—] (—) 92	[—] (—) —		
2年次	/		[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) 83	[—] (—) —	[1] (—) 81	[—] (—) —		
3年次			/		[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) 83	[—] (—) —	
4年次					/		[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —
計			[—] (—) —	[—] (—) 83			[1] (—) 165	[1] (—) 256		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	1 人	0 人	平成24年度	人	人		— %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	83 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	82 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	死亡(1人)	1.2 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	92 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
合 計	257 人	1 人					0.4 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
共通科目	社会・文化・生活科目	社会学	1前・後		2								7 兼5 6	担当辞退があり、兼5に変更(26) スーパーグローバル大学創生支援事業により英語クラスを増設したため兼担教員を追加し兼7に変更(27)	
		政治学	1前・後		2								3 兼2	スーパーグローバル大学創生支援事業により英語クラスを増設したため兼担教員を追加し兼3に変更(27)	
		心理学入門	1前・後		2								4 兼2	履修者増加により授業開講数を増やしたため、兼4に変更(26)	
		教養地理学	1前・後		2								兼1		
	自然・数理・情報科目	数理科学	1前・後		2								兼4 2 3	担当辞退があり、兼2に変更(26) 平成26年度に辞退した兼任教員の後任が決定したことと、スーパーグローバル大学創生支援事業により英語クラスを増設したため兼担教員を追加し兼4に変更(27)	
		統計学入門	1前・後		2								兼2 1	担当者を変更し、兼2に変更(26)	
		物理科学	1前・後		2								兼2		
		コンピュータ・リテラシー	1前	2									兼1		
情報科学		1前・後		2								兼4			
生命科学		1前・後		2			1					兼4 5	担当辞退があり、兼4に変更(25)		
環境科学		1前・後		2								兼3			
プログラミング		1前・後		2								兼3 2	担当者を変更し、兼3に変更(27)		
専門科目	専門基礎分野	人間のからだどこころ	1前	1			1						兼1		
		構造機能学Ⅱ	1後	1			1						兼4		
		生化学の基礎	1前	2			1						兼2		
		病態生理学	1後	2			1						兼1		
		栄養学	1後	2									兼5		
		診断治療学Ⅰ	2前	2			1						兼10		
		診断治療学Ⅱ	2後	2			1						兼1		
		薬理学	2前	2									兼1		
		心理学	2前	2									兼1		
		看護とリハビリテーション	2後	2									兼1		
	健康と社会	人間関係とコミュニケーション	1前	1			2								
		健康と生活	1前	2			2	2			2			兼2	
		生命倫理	1後	2										兼1	
		社会保障・社会福祉論	2前	2											
		公衆衛生入門	2後	1				2			1				
		疫学・保健統計	3前	2				1							
	看護の専門分野Ⅰ	看護学概論	1前	2				1							
		生活援助技術Ⅰ	1前	1						2		3			
		生活援助技術Ⅱ	1前	1						2		3			
		生活援助技術Ⅲ	1後	1						2		3			
生活援助技術Ⅳ		1後	1						2		3				
看護理論		1後	1				1								
フィジカルアセスメント		1後	1				1	1			3				
臨床看護技術Ⅰ		2前	1				1	1			3				
臨床看護技術Ⅱ		2後	1				1	1			3				
看護過程演習		2前	1				2	3			3				
基礎看護学実習Ⅰ		1前	1					3 2	4 5	7 6	8			①講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 ②実習指導体制および教員組織充実のため、教員を追加(27) 担当 木村幸代(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可	
基礎看護学実習Ⅱ		2後	2				4 3	3 4	7 6	8			①講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 ②実習指導体制および教員組織充実のため、教員を追加(27) 担当 木村幸代(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考												
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手													
看護の専門分野II	成人看護学 成人看護学 成人看護学 成人看護学 成人看護学 成人看護学	成人看護学概論	2前	2			1																	
		成人看護学急性期援助論 I	2後	1			1	1																
		成人看護学急性期援助論 II	3前	1			2	1	1	1	1													
		成人看護学慢性期援助論 I	2後	1				1																
		成人看護学慢性期援助論 II	3前	1			2	2	1															
		成人看護学急性期実習	3前・後	3			1	1	1	1	1													兼 1
	成人看護学慢性期実習	3前・後	3			1	1			1	1													兼 2
	老年看護学 老年看護学 老年看護学 老年看護学	老年看護学概論	2前	2				1																
		老年看護学援助論 I	2後	1				1			1	1												
		老年看護学援助論 II	3前	1				1			1	1												
		老年看護学実習	3前・後	4				2	0	1	1	2												兼 2
	小児看護学 小児看護学 小児看護学 小児看護学	小児看護学概論	2前	2			1		1															
		小児看護学援助論 I	2後	1			1		1															
		小児看護学援助論 II	3前	1			1		1			1												
	小児看護学実習	3前・後	2			1		1			1													
	母性看護学 母性看護学 母性看護学 母性看護学	母性看護学概論	2後	2				1																
		母性看護学援助論 I	3前	1				1			2	1												
		母性看護学援助論 II	3後	1				1			2	1												
		母性看護学実習	4前	2				1			2	1												
	精神看護学 精神看護学 精神看護学	精神看護学概論	2前	2			2																	
		精神看護学援助論	2後	2			2				1													
		精神看護学実習	3前・後	2			2				1													兼 1
	地域在宅看護学 地域在宅看護学 地域在宅看護学 地域在宅看護学	地域在宅看護学概論	2後	2				2			1													
		地域在宅看護学援助論 I	3前	1				2			1	1												
地域在宅看護学援助論 II		3後	1				2			1	1													
地域在宅看護学実習		4前	2				2			1	1													
看護の専門分野III	国際看護学 国際看護学 国際看護学 国際看護学 国際看護学 国際看護学	国際保健学	2後	2				1																
		国際看護学	1後		2			2																
		国際看護学特講a	1後		2			1																
		国際看護学特講b	1後		2			1																
		国際看護学特講c	1後		2			1																
		国際看護学研修	2前		2			3						1										
	看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展 看護の統合と発展	キャリアプランニング基礎	1前	1			6	8	5	4														
		看護管理論	3前	2			1		1															兼 2
		感染看護論	3前	1																				
		看護学研究方法論	3後	1			3																	
		災害看護論	4前	1																				
卒業研究演習		4前	1			6	10	4	4														兼 1	
看護実践統合実習		4後	2			5	9	5	7	8	8													
卒業論文		4後	2			6	10	5	4															
医療連携論		3前		1			2																	
クリティカルケア論		4前		1				1			2													
がん看護論		4前		1		2																		
リエゾン精神看護		4前		1		1																		
家族看護論		4後		1		3	2																	
生活習慣病予防と看護		4後		1			1				1													
看護実践と倫理的課題		4後		1			3																	
看護専門職論	4後		1		2					1														

講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可

実習指導体制および教員組織充実のため、教員を追加(27) 担当 木村幸代(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定 可

講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可

①講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
②実習指導体制および教員組織充実のため、教員を追加(27) 担当 木村幸代(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定 可

講師から准教授へ職位の変更(27) 担当 田中結花子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 64	科目 54	科目 0	科目 118	科目 64	科目 54	科目 0	科目 118	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{118} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	教職員宿舍用の土地売却に伴う変更 (27)			
	校舎敷地	262,997.08 m ²	0 m ²	0 m ²	262,997.08 m ²				
	運動場用地	108,423.08 m ²	0 m ²	0 m ²	108,423.08 m ²				
	小 計	371,420.16 m ²	0 m ²	0 m ²	371,420.16 m ²				
	そ の 他	371,326.19 m ² 371,779.61 m ²	0 m ²	0 m ²	371,326.19 m ² 371,779.61 m ²				
	合 計	742,746.35 m ² 743,199.77 m ²	0 m ²	0 m ²	742,746.35 m ² 743,199.77 m ²				
(2) 校 舎	専 用	166,016.18 m ² 171,692.39 m ² (113,030.22 m ²)	0 m ²	0 m ²	166,016.18 m ² 171,692.39 m ² (113,030.22 m ²)	看護学部棟・中央教育棟の竣工面積確定に伴う変更(26) 理科実験棟・福利厚生棟②の解体に伴う変更(26) 学生センターの用途精査に伴う修正(26) 教育学部増築棟の計画面積の変更(26)			
	共 用	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	60 79 127 室	42 92 135 室	5 12 室	11 14 19 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 (補助職員 0人)			
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			27 28 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	視聴覚資料の上方修正は、学生・教員の要望および教育効果への寄与を考慮して、その充実を図ったことによる。(27)	
	看護学部	6,000 [1,200] 6,000 1,123 5,698 1,063 (5,000 [1,000])	75 [30] 75 79 30 (53 [23])	600 [300] (600 [300])	85 82 (85 82 68)	13,167 (13,167)	98 (98)		
	計	6,000 [1,200] 6,000 1,123 5,698 1,063 (5,000 [1,000])	75 [30] 75 79 30 (53 [23])	600 [300] (600 [300])	85 82 (85 82 68)	13167 (13,167)	98 (98)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	8,763.80 m ²		1,200 席		1,290,079 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	13,585.06 m ²		陸上競技場、野球場、ラグビー場、 プール 等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には視聴覚教材・電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	430千円	430千円	図書購入費	37,600千円	8,470千円 7,000千円	7,000千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	356,420千円	2,000千円	2,000千円	図書購入費の開設年度の増額修正は視聴覚教材・資料の充実を図ったため。(26)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,546千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、寄付金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		創 価 大 学							備 考	
既設学部等の名称		修業 年限	入 学 定 員	編入学 員 年次 人	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
[学 部]		年	人	年次 人	人		倍			
経済学部	経済学科	4	※200	—	900	学士 (経済学)	1.10	昭和46年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	※平成26年度
法学部	法律学科	4	※250	—	1,050	学士 (法学)	1.09	昭和46年		※平成25年度
文学部	人間学科	4	※370	—	1,500	学士 (文学)	1.09	昭和46年		※平成25年度
経営学部	経営学科	4	※200	—	900	学士 (経営学)	1.10	昭和51年		※平成26年度
教育学部	教育学科	4	※80	—	340	学士 (教育学)	1.09	昭和51年		※平成25年度
	児童教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.10	昭和51年		
理工学部	情報システム工学科	4	※80	—	300	学士 (理工学)	1.10	平成3年		※平成25年度 70人 ※平成27年度 80人
	共生創造理工学科	4	100	—	100	学士 (理工学)	1.25	平成27年		
	生命情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成3年		※平成27年より学生募 集停止
	環境共生工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成15年		※平成27年より学生募 集停止
看護学部	看護学科	4	※80	—	240	学士 (看護学)	1.06	平成25年		
国際教養学部	国際教養学科	4	※80	—	160	学士 (国際教養学)	1.09	平成26年		
[大学院] 〈博士前期課程〉										
経済学研究科	経済学専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.16	昭和50年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	
法学研究科	法律学専攻	2	15	—	30	修士 (法学)	0.29	昭和50年		
文学研究科	英文学専攻	2	10	—	20	修士 (英文学)	0.25	昭和50年		
文学研究科	社会学専攻	2	10	—	20	修士 (社会学)	0.30	昭和50年		
文学研究科	教育学専攻	2	15	—	30	修士 (教育学)	0.73	昭和61年		
文学研究科	人文学専攻	2	8	—	16	修士 (人文学)	0.37	平成4年		
文学研究科	国際言語教育専攻	2	15	—	30	修士 (教育学)	0.60	平成21年		
工学研究科	情報システム工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.94	平成7年		
工学研究科	生命情報工学専攻	2	20	—	40	修士 (工学)	0.77	平成7年		
工学研究科	環境共生工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.74	平成19年		
[大学院] 〈博士後期課程〉										
経済学研究科	経済学専攻	3	5	—	15	博士 (経済学)	0.20	昭和52年		
法学研究科	法律学専攻	3	3	—	9	博士 (法学)	0.00	昭和52年		
文学研究科	英文学専攻	3	5	—	15	博士 (英文学)	0.06	昭和52年		
文学研究科	社会学専攻	3	5	—	15	博士 (社会学)	0.26	昭和52年		
文学研究科	教育学専攻	3	2	—	6	博士 (教育学)	0.50	平成元年		
文学研究科	人文学専攻	3	4	—	12	博士 (人文学)	0.00	平成6年		
工学研究科	情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学)	0.16	平成9年		
工学研究科	生命情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学)	1.08	平成9年		
工学研究科	環境共生工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.66	平成19年		
[大学院] 〈専門職課程〉										
法務研究科	法務専攻	3	※30	—	95	法務博士 (専門職)	0.73	平成16年		※平成26年度
教職研究科	教職専攻	2	25	—	50	法務博士 (専門職)	0.82	平成20年		
[通信教育部]										
経済学部		4	2,000	—	8,000	学士 (経済学)	0.12	昭和51年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	
法学部		4	2,000	—	8,000	学士 (法学)	0.11	昭和51年		
教育学部		4	※650	—	3,650	学士 (教育学)	0.68	昭和57年		※平成27年度
[別 科]	日本語研修課程	1	35	—	35		0.71	昭和51年		
	特別履修課程	1	40	—	40		0.95	平成16年		

大学の名称	創 価 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
現代ビジネス学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (現代ビジネス)	倍	昭和60年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	※平成27年度
英語コミュニケーション学科	2	150	—	300	短期大学士 (英語コミュニケー ション)	1.02	昭和60年		
	2	※100	—	225		1.04	昭和60年		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	ナカイズミ アキヒロ 中泉 明彦	平成25年4月	構造機能学Ⅰ※ 構造機能学Ⅱ※ 生化学の基礎 病態生理学※ 診断治療学Ⅰ※ 診断治療学Ⅱ※ キャリアプランニング基礎※ 卒業研究演習 卒業論文 家族看護論※ がん看護論※						
専	教授	ムラシマ サイコ 村島 さい子	平成25年4月	成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学慢性期実習<集中> キャリアプランニング基礎※ 看護管理論 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 看護専門職論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成25、26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) 人間関係とコミュニケーション※(平成25年度のみ担当)						
専	教授	オオガマ ノリマサ 大釜 徳政	平成26年4月	成人看護学概論 成人看護急性期援助論Ⅰ※ 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 がん看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	教授	ナガヌマ タカミ 長沼 貴美	平成25年4月	健康と生活※ 小児看護学概論※ 小児看護援助論Ⅰ※ 小児看護援助論Ⅱ※ 小児看護学実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践総合実習<集中> 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)					
専	教授	イガラシ アイコ 五十嵐 愛子	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション※ 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護学実習<集中> リエゾン精神看護 看護実践総合実習<集中> 卒業研究演習 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25、26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)					
専	教授	ホンダ ユウコ 本田 優子	平成26年4月	人間関係とコミュニケーション※ 健康と生活※ 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護学実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践総合実習<集中> 卒業論文 看護専門職論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)					
兼任	講師	ホンダ ユウコ 本田 優子	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション※ 健康と生活※					
設置時の計画				変更状況					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	ササキ サトシ 佐々木 論	平成25年4月	疫学・保健統計 国際保健学 国際看護特講 a (平成25年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 卒業論文 共通基礎演習 生命科学						
専	准教授	アキモト トシコ 秋元とし子	平成25年4月	看護学概論 看護理論 看護過程演習 基礎看護学実習 I <集中> 基礎看護学実習 II <集中> 国際看護学※ 国際看護特講 b (平成26年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 看護実践と倫理的課題※ キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	ゴミ チホ 五味 千帆	平成25年4月	フィジカルアセスメント 臨床看護技術 I 臨床看護技術 II 看護過程演習 基礎看護学実習 I <集中> 基礎看護学実習 II <集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 看護実践と倫理的課題※ キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	ソエダ ユリコ 添田 百合子	平成25年4月	基礎看護学実習 II <集中> 成人看護慢性期援助論 I 成人看護慢性期援助論 II※ 成人看護学慢性期実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 生活習慣病予防と看護※ 看護実践と倫理的課題※ 基礎看護学実習 I <集中> (平成25, 26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	タナカ ヒロコ 田中 博子	平成26年4月	成人看護急性期援助論Ⅰ※ 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 国際看護学※ 国際看護特講c(平成27年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) キャリアアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						
兼任	講師	タナカ ヒロコ 田中 博子	平成25年4月	国際看護学※						
専	准教授	ヒガシモリ ユカ 東森 由香	平成25年4月	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ※ 老年看護援助論Ⅱ※ 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 医療連携論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) キャリアアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	シムラ チツコ 志村 千鶴子	平成26年4月	母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ※ 母性看護援助論Ⅱ※<集中> 母性看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	オクヤマ ミキコ 奥山 みき子	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論Ⅰ※ 地域在宅看護援助論Ⅱ<集中> 地域在宅看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 医療連携論※ 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	フジタ ミエ 藤田 美江	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論Ⅰ※ 地域在宅看護援助論Ⅱ<集中> 地域在宅看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	ハヤシ マリコ 林 真理子	平成25年4月	生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 生活援助技術Ⅳ 看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	アオキ リョウコ 青木 涼子	平成25年4月	生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ フィジカルアセスメント 臨床看護技術Ⅱ 看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	ノウミ キョウコ 能見 清子	平成25年4月	生活援助技術Ⅲ 生活援助技術Ⅳ 臨床看護技術Ⅰ 看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 看護管理論 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	オオガマ ノブマサ 大金 信政	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 クリティカルケア論 看護専門職論※ キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	タナカ ユカコ 田中 結花子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文	専	准教授	タナカ ユカコ 田中 結花子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文	平成27年4月 准教授へ昇任。 [平成27年1月 AC教員審査済](27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	サトウ ミカ 佐藤 美香	平成25年4月	小児看護学概論※ 小児看護援助論Ⅰ※ 小児看護援助論Ⅱ※ 小児看護学実習<集中> 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25, 26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	助教	ミキ タマミ 三木 珠美	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>						
専	助教	オカモト キミエ 岡本 きみ江	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護学慢性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>	専	助教	オカモト キミエ 岡本 きみ江	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護学慢性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>	平成27年4月就任予定であったが、今松友紀助教の就任が遅延することになったため、その交代として時期を早めて就任(25)
専	助教	マツダイラ ユカ 松平 裕佳	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成26年度から担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 老年看護援助論Ⅰ※ 老年看護援助論Ⅱ※ 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						
専	助教	カタオカ ニウカ 片岡 優華	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 母性看護援助論Ⅰ※ 母性看護援助論Ⅱ※<集中> 母性看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	クナカ リエ 田中 利枝	平成25年4月	健康と生活※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 母性看護援助論Ⅰ※ 母性看護援助論Ⅱ※<集中> 母性看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	助教	イママツ ユキ 今松 友紀	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論Ⅰ※ 地域在宅看護援助論Ⅱ<集中> 地域在宅看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 生活習慣病予防と看護※ キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)	専	助教	イママツ ユキ 今松 友紀	平成26年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論Ⅰ※ 地域在宅看護援助論Ⅱ<集中> 地域在宅看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 生活習慣病予防と看護※ キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)	現職の諸事情により、就任が1年遅延(25)
					兼任	講師	イママツ ユキ 今松 友紀	平成25年4月	健康と生活※	就任が1年遅れるので、平成25年度は兼任講師として科目を担当(25)
					専	助教	キムラ サチヨ 木村 幸代	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 精神看護援助論※ 精神看護学実習<集中> 看護実践統合実習<集中>	実習指導体制の強化と教員組織の充実のため、精神看護学領域の専任教員として追加。 [平成26年9月 AC教員審査済] (27)
兼任	教授	コヤマ ミツル 小山 満	平成25年4月	美術						
兼任	教授	セキガワ ヨシヒト 関川 佳人	平成25年4月	体育実技 体育講義						
兼任	教授	イケダ ヒデヒコ 池田 秀彦	平成25年4月	法学概説						
兼任	教授	イノウエ アヤコ 井上 アヤ子	平成25年4月	体育講義 体育実技						
兼任	教授	ワダ コウイチ 和田 光一	平成25年4月	社会学			後任なし			「社会学」の担当辞退。同科目は他に5名の担当者がいるので、教育上は支障ない。(26)
兼任	教授	コグレ シンイチ 木暮 信一	平成25年4月	生命倫理※ 生命科学	兼任	教授	コグレ シンイチ 木暮 信一	平成25年4月	生命倫理※ 生命科学	「生命科学」の担当辞退。同科目は他に複数の担当者がいるので、教育上支障ない。(25)
兼任	教授	ハスヌマ アキコ 蓮沼 昭子	平成25年4月	言語論						
兼任	教授	ミズタニ マコト 水谷 誠	平成25年4月	文学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	サカモト 坂本 辰朗	平成25年4月	大学論						
兼任	教授	マガリ ハルオ 鉤 治雄	平成25年4月	心理学入門	兼任	教授	マガリ ハルオ 鉤 治雄	平成25年4月	心理学入門	履修者増加のため、「心理学入門」の開講数を増やし、増加分のクラスを新たに2名の教員で担当。(26)
					兼任	講師	オザワ リエコ 小澤 理恵子	平成26年4月	心理学入門	
					兼任	講師	イ ファジョン 李 和貞	平成26年4月	心理学入門	
兼任	教授	ハババ ヨシヒサ 馬場 善久	平成25年4月	統計学入門	兼任	教授	コバヤシ コウジ 小林 孝次	平成26年4月	統計学入門	馬場教授の「統計学入門」の担当辞退に伴う担当者の変更。(26)
					兼任	准教授	オスイ タケヒロ 碓井 健亮	平成26年4月	統計学入門	
					兼任	講師	ヤスタケ タエコ 安武 妙子	平成27年4月	統計学入門	
兼任	教授	フジタ ヒサノリ 藤田 尚則	平成25年4月	日本国憲法						
兼任	教授	ナカジマ カズユキ 中嶋 一行	平成25年4月	生命科学						
兼任	教授	タナカ リョウヘイ 田中 亮平	平成25年4月	文学			後任なし		田中教授の担当辞退。「文学」は他に3名の担当教員がいるため、支障はない。(27)	
兼任	教授	スギヤマ ニキオ 杉山 由紀男	平成25年4月	共通基礎演習						
兼任	教授	クニシマ ヒロユキ 國島 弘行	平成25年4月	経営学						
兼任	教授	カンダチ コウイチ 神立 孝一	平成25年4月	人間教育論						
兼任	教授	テラニシ ヒロトモ 寺西 宏友	平成25年4月	人間教育論	兼任	教授	テラニシ ヒロトモ 寺西 宏友	平成25年4月	人間教育論 共通基礎演習	教育課程の充実のため、共通基礎演習の開講数を増やしたことによる担当の追加。(27)
兼任	教授	ハヤシ アキラ 林 亮	平成25年4月	社会学						
兼任	教授	サカベ ソウイチ 坂部 創一	平成25年4月	情報科学						
兼任	教授	ヒグチ マサル 樋口 勝	平成25年4月	共通基礎演習						
兼任	教授	ヨシカワ セイジ 吉川 成司	平成25年4月	心理学入門	兼任	准教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学 心理学入門	吉川教授の担当辞退に伴い、田村准教授に「心理学入門」の担当を追加。(26)
兼任	教授	コジマ ノブヤス 小島 信泰	平成25年4月	共通基礎演習 宗教学	兼任	教授	マリア グアハルド Maria Guajardo	平成27年4月	共通基礎演習	児島教授の共通基礎演習担当辞退に伴い、同科目の担当をGuajardo教授へ変更。(27)
					兼任	教授	コジマ ノブヤス 小島 信泰	平成25年4月	宗教学	
兼任	教授	マルタ シンサク 丸田 晋策	平成25年4月	生命科学						
兼任	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司	平成25年4月	共通基礎演習						
兼任	教授	クボタ ヒデアキ 久保田 秀明	平成25年4月	体育講義 体育実技						
兼任	教授	セキ アツシ 関 篤志	平成25年4月	生命科学※						
兼任	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹	平成25年4月	社会学						
兼任	教授	カンザカ ジュンイチ 勘坂 純市	平成25年4月	現代文明論						
兼任	教授	チエ ヨンウン 崔 龍雲	平成25年4月	物理科学						
兼任	教授	ヤマナカ マサキ 山中 正樹	平成25年4月	文学						
兼任	教授	キノシタ カオル 木下 薫	平成25年4月	人間教育論	兼任	准教授	サガエ ミツノリ 寒河江 光徳	平成25年4月	人間教育論	担当者の変更(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	ローレンス マクドナルド Laurence MacDonald	平成27年4月	人間教育論	スーパーグローバル大学創生支援事業により英語クラスを増設したことによる教員の追加(27)
					兼任	教授	オサナイ マサル 小山内 優	平成27年4月	共通基礎演習	教育課程の充実のため、共通基礎演習の開講数を増やしたことによる追加。(27)
					兼任	教授	ニシウラ アキオ 西浦 昭雄	平成27年4月	共通基礎演習	教育課程の充実のため、共通基礎演習の開講数を増やしたことによる追加。(27)
					兼任	教授	イシイ ヒデアキ 石井 秀明	平成27年4月	共通基礎演習	教育課程の充実のため、共通基礎演習の開講数を増やしたことによる追加。(27)
兼任	准教授	アツミ マサヤス 渥美 雅保	平成25年4月	情報科学	兼任	教授	アツミ マサヤス 渥美 雅保	平成25年4月	情報科学	平成26年4月教授に昇任。(26)
兼任	准教授	コンドウ カズノリ 近藤 和典	平成25年4月	生命科学※						
兼任	准教授	ニイツ タカシ 新津 隆士	平成25年4月	環境科学						
兼任	准教授	イシイ ヨシオ 石井 良夫	平成25年4月	物理科学						
兼任	准教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学	兼任	教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学 心理学入門	吉川教授の担当辞退に伴い、田村准教授に「心理学入門」の担当を追加。(26) 平成27年4月教授に昇任。(27)
兼任	准教授	ヤマダ リュウサク 山田 竜作	平成25年4月	共通基礎演習 政治学	兼任	教授	ヤマダ リュウサク 山田 竜作	平成25年4月	共通基礎演習 政治学	平成26年4月教授に昇任。(26)
兼任	准教授	イダ ジュンイチ 井田 旬一	平成25年4月	環境科学	兼任	教授	イダ ジュンイチ 井田 旬一	平成25年4月	環境科学	平成26年4月教授に昇任。(26)
兼任	准教授	イトウ タカオ 伊藤 貴雄	平成25年4月	倫理学	兼任	講師	カサガ ジュンイチ 春日 潤一	平成25年4月	倫理学	「倫理学」の担当辞退。兼任の春日講師の担当コマ数の増加で対応(25)
兼任	准教授	ムラカミ ノブアキ 村上 信明	平成25年4月	歴史			後任なし			村上准教授の在外研究派遣に伴う担当辞退。「歴史」は他に6名の担当教員がいるため、支障はない。(27)
兼任	准教授	クワバラ ビクター シンイチ 桑原ビクター伸一	平成25年4月	人間教育論	兼任	講師	アントリュー ゲハート A. Gebert	平成26年4月	人間教育論	桑原准教授の在外研究派遣のため、平成26年度のみ担当者を変更。(26)
兼任	准教授	スギモト イチロウ 杉本 一郎	平成25年4月	プログラミング	兼任	教授	スギモト イチロウ 杉本 一郎	平成25年4月	プログラミング	平成26年4月教授に昇任。(26)
					兼任	教授	アサイ マナブ 浅井 学	平成27年4月	プログラミング	杉本教授の担当辞退に伴う変更。(27)
兼任	講師	クメカワ ノリカズ 久米川 宣一	平成25年4月	環境科学						
兼任	講師	サメシマ トシアキ 鮫島 俊朗	平成25年4月	構造機能学Ⅰ※						
兼任	講師	イシカワ テルヨ 石川てる代	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ネモト マサヒト 根本 正史	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 病態生理学※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ナカタ ヨウイチ 永田 洋一	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※						
兼任	講師	クニトモ マユミ 國友 万由美	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	カシオ ノブユキ 加塩 信行	平成25年4月	病態生理学※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	コバヤシ ヒロユキ 小林 広幸	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	ショウジ マサアキ 庄司 正昭	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	コンドウ カズヤ 近藤 和也	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	エト カヨコ 江渡加代子	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
設置時の計画					変更状況					
専任・					専任・					

兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	ヒラサワ リュウト 平澤 龍登	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	ゴトウ トシタカ 後藤 智隆	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	イガラシ ユキヨ 五十嵐 有紀子	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※	兼任	講師	フジイ ヒロシ 藤井 裕士	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※	兼任の五十嵐講師の就任辞退に伴う担当者の変更。(26)
兼任	講師	ヒロセ ワタル 廣瀬 恒	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	サカイ ヒデキ 酒井 英樹	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	キウチ ケンジロウ 木内健二郎	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	アライ カツヒロ 新井 勝大	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学	兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学 哲学	兼任の浦講師の退任に伴い、山崎講師に「哲学」の担当追加(25)
兼任	講師	ホリグチ ヨシエ 堀口 よし江	平成26年4月	薬理学						
兼任	講師	タカヤマ ヤスノブ 高山 康信	平成26年4月	社会保障・社会福祉論						
兼任	講師	ナカムラ シン 中村 信	平成26年4月	看護とリハビリテーション						
兼任	講師	イトウ ミワコ 伊藤 美和子	平成27年4月	感染看護論※						
兼任	講師	ムトウ クミコ 武藤久美子	平成27年4月	感染看護論※						
兼任	講師	スズキ ケイコ 鈴木 恵子	平成28年4月	災害看護論						
兼任	講師	タカク ハスブミ 高久 泰文	平成25年4月	日本国憲法	兼任	教授	ハナミ ツネユキ 花見 常幸	平成25年4月	日本国憲法	兼任の高久講師の退任に伴う担当者の変更(25)
兼任	講師	ワダ マサヒコ 和田 正彦	平成25年4月	歴史						
兼任	講師	スズキ マサトシ 鈴木 正敏	平成25年4月	栄養学 体育講義						
兼任	講師	クボ サチオ 久保 幸夫	平成25年4月	教養地理学						
兼任	講師	タカオ シュンイチ 鷹尾 俊一	平成25年4月	美術						
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江	平成25年4月	歴史						
兼任	講師	フジオカ ユウジロウ 藤岡 祐次郎	平成25年4月	政治学						
兼任	講師	オオグロ マサノブ 大黒 正伸	平成25年4月	社会学						
兼任	講師	ウラ ヒデオ 浦 英雄	平成25年4月	哲学	兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学 哲学	兼任の浦講師の退任に伴い、山崎講師に「哲学」の担当追加(25)
兼任	講師	ウメダ ビンコウ B.カンデル	平成25年4月	経営学	兼任	講師	ウメダ トオル 梅田 徹	平成26年4月	経営学	平成26年3月 カンデル講師の退任に伴い、平成26年度より担当者を変更。(26)
兼任	講師	ミツダ タケシ 満田 剛	平成25年4月	歴史			後任なし			平成26年3月 満田講師の退任。「歴史」は他に担当教員が7名いるため、支障はない。(26)

< 共通 >

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	アリサト ノリミツ 有里 典三	平成25年4月	共通基礎演習 社会学						
兼任	教授	サカモト ミキオ 坂本 幹雄	平成25年4月	共通基礎演習 経済学						
					兼任	教授	カノウ ナオユキ 加納 直幸 57	平成27年4月	経済学	教育課程の充実のため、経済学の開講数を増やしたことによる追加。(27)
兼任	教授	キムラ フミコ 木村 富美子	平成25年4月	コンピュータ・リテラシー						
兼任	准教授	リュウ ケイセイ 劉 継生	平成25年4月	情報科学						
兼任	准教授	ヒダカ ヨシタカ 日高 吉隆	平成25年4月	言語論						
兼任	准教授	シミズ ツヨシ 清水 強志	平成25年4月	共通基礎演習 社会学						
					兼任	准教授	ハートムット レンツ Hartmut Lenz 38	平成27年4月	社会学	スーパーグローバル大学創生支援事業により「社会学」の英語クラスを増設したことによる担当の追加。(27)
					兼任	准教授	ロバート シンクレイヤー Robert Sinclair 44	平成27年4月	政治学	スーパーグローバル大学創生支援事業により「政治学」の英語クラスを増設したことによる担当の追加。(27)
					兼任	講師	ジョハナ ズルエタ Johanna Zulueta 36	平成27年4月	社会学	スーパーグローバル大学創生支援事業により「社会学」の英語クラスを増設したことによる担当の追加。(27)
兼任	講師	ヤマシタ ユミコ 山下 由美子	平成25年4月	文章表現法						
兼任	講師	ヤマモト シンゴ 山本 成代	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II 英語A I 英語A II	兼任	准教授	ヤマモト シンゴ 山本 成代 61	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II 英語A I 英語A II	平成26年4月 准教授に昇任(26)
兼任	講師	ジボリック ボリック J. Bolick	平成25年4月	Professional English Intermediate I Professional English Intermediate II						
兼任	講師	カイスマ タダシ 開沼 正	平成25年4月	歴史※						
兼任	講師	ニシダ サトシ 西田 哲史	平成25年4月	歴史	兼任	准教授	ニシダ サトシ 西田 哲史 47	平成25年4月	歴史	平成26年4月 准教授に昇任(26)
兼任	講師	カンザカ イズミ 勘坂 泉	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II						
兼任	講師	グアグレイ-ハースフォード V. Hansford	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II						
兼任	講師	コイケ ソウ 小池 惣	平成25年4月	英語B I 英語B II	兼任	講師	ジェイミー パードン J. Purdon 51	平成25年4月	英語B I 英語B II	小池講師の退任に伴う変更。(27)
兼任	講師	トミオカ ヒロコ 富岡 比呂子	平成25年4月	共通基礎演習	兼任	講師	リ ハイ 李 佩 60	平成27年4月	共通基礎演習	富岡講師の担当辞退に伴う担当者の変更。(27)
兼任	講師	モチヅキ コウゾウ 望月 光三	平成25年4月	数理科学	兼任	講師	モチヅキ コウゾウ 望月 光三 71	平成25年4月	数理科学	スーパーグローバル大学創生支援事業により「数理科学」の英語クラスを増設したことによる教員の追加(27)
					兼任	講師	スズキ マサアキ 鈴木 正明 40	平成27年4月	数理科学	
兼任	講師	ミヤモト ツトム 宮本 勉	平成25年4月	プログラミング 情報科学	兼任	教授	モチヅキ マサミツ 望月 雅光 47	平成27年4月	プログラミング	宮本講師の退任に伴う変更。(27)
					兼任	講師	ナガノ ジュンイチ 長野 純一 32	平成27年4月	プログラミング	
					兼任	准教授	コウ クニミツ 黄 國光 57	平成27年4月	情報科学	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	フクムロ ミツヤ 福室 満哉	平成25年4月	経営学						
兼任	講師	デルバート カーン D. Kern	平成25年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	兼任	講師	デルバート カーン D. Kern 65	平成25年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	年次進行による履修者増加のため、平成26年度よりTest Preparation Intermediate TOEIC I、同IIの開講数を増やし、増加分のクラスを新たに2名の教員で担当。(26)
					兼任	講師	ジェイミー パードン J. Purdon 50	平成26年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	
					兼任	講師	ジェイ レイモンド シンガー J. Singer 53	平成26年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	
兼任	講師	コバヤシ マサヒロ 小林 正博	平成25年4月	宗教学 歴史※						
兼任	講師	オオツカ ヨキオ 大塚 由紀夫	平成25年4月	音楽						
兼任	講師	オグラ ヨウジ 小倉 裕児	平成25年4月	歴史※	兼任	教授	オグラ ヨウジ 小倉 裕児 60	平成25年4月	歴史※	平成25年4月 本学の専任教授に就任(25)
兼任	講師	アベ ショウキチ 阿部 昇吉	平成25年4月	文学						
兼任	講師	イケダ カズコ 池田 和子	平成25年4月	英語B I 英語B II						
兼任	講師	カンダ アキノブ 神田 明延	平成25年4月	英語C						
兼任	講師	カンダ レイコ 神田 玲子	平成25年4月	英語C						
兼任	講師	タイラ スナオ 平良 直	平成25年4月	宗教学						
兼任	講師	フカオ カツトシ 深尾 勝利	平成25年4月	英語B I 英語B II						
兼任	講師	カドカワ カズオ 門川 和男	平成25年4月	数理科学	兼任	講師	ノヰキーカユ 野崎 華世 39	平成25年4月	数理科学	兼任の門川講師の退任に伴う 担当者の変更 (25)
					兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一 66	平成25年4月	数理科学	平成26年3月 野崎講師退任のため、平成26年度より兼任の阿部講師の担当コマ数増加で対応。(26)
					兼任	講師	カドカワ カズオ 門川 和男 39	平成27年4月	数理科学	平成27年4月 門川講師の兼任復活により、平成27年より再び「数理科学」を担当。(27)
兼任	講師	ハザマ トシユキ 狭間 敏行	平成25年4月	英語A I 英語A II						
兼任	講師	カスガ ジュンイチ 春日 潤一	平成25年4月	倫理学						
兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一	平成25年4月	数理科学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	9	6	6	27	6	10	5	7	28	65	2	65	2
(4)	(7)	(5)	(2)	(18)	[0]	[1]	[Δ 1]	[1]	[1]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 教員組織 専任教員 27名(教授6、准教授9、講師6、助教6)</p> <p>② 実習先の確保状況 「基礎看護学実習Ⅱ」 八王子市内および周辺の10病院で行う。 「老年看護学実習」 八王子市内の介護老人保健施設2施設と医療型療養病床を有する2病院で行う。 「小児看護学実習」 八王子市と横浜市の2病院と、八王子市と町田市の9保育園で行う。 「地域在宅看護学実習」 八王子市内の訪問看護ステーション5ヶ所と地域包括支援センター12ヶ所で行なう。</p>	<p>① 教員資格審査(AC教員審査)を経て、助教1名を採用。同じく、1名の職位を変更(講師→准教授)。これにより、専任教員は28名になり、実習をはじめ教育体制の更なる充実を図ることができた。内訳は、教授6、准教授10、講師5、助教7。</p> <p>② より充実かつ円滑に実習を実施するため、実習先を追加した。新たな実習先の榊原記念病院では「基礎看護学実習Ⅱ」及び「小児看護学実習」を、同じく横浜市立市民病院では「小児看護学実習」が、実施できる体制になった。また、「地域在宅看護学実習」では、東京都立神経病院のほか、八王子市内の地域包括支援センター3カ所、さらに八王子市および近隣市の訪問看護ステーション2施設を追加、確保することができた。「小児看護学実習」でも1保育園の追加、「老年看護学実習」では介護老人保健施設1カ所を追加することができた。 今後も実習先との連携を密にしつつ、円滑な実習運営のために努めてまいりたい。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>ア) 創価大学ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下、「全学FD委員会」という。関係規程添付)</p> <p>イ) 看護学部FD委員会 学部のFD委員会は専任教員7名と助手1名、計8名で構成</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>ア) 全学FD委員会 平成26年4月29日、9月30日、平成27年1月30日、4月29日:看護学部出席者各1名</p> <p>イ) 看護学部FD委員会 ほぼ毎月、計13回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>ア) 全学FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスの到達目標の共有化による授業改善に関する進捗報告について ・ 授業の収録公開促進WGの設置について

- ・ 学士課程教育機構FDセミナー・FDフォーラム開催について
- ・ 役職者（学部長以上）の授業公開について
- ・ 新任教員スタートアップセミナーについて
- ・ 「シラバスの到達目標の共有化による授業改善」について
- ・ 授業アンケートについて など

イ) 看護学部FD委員会

- ・ FD活動の企画・実施・評価に関する事項
- ・ FD予算・決算に関すること
- ・ 全学FD委員会からの諮問事項
- ・ 全学FD委員会との連携
- ・ FD委員会内規の検討、他

② 実施状況

a 実施内容

ア) 全学FD委員会

- ・ 学士課程教育機構の主催によるFDセミナーを2014年度は6回開催した。
- ・ 2014年7月12日に、（第12回）FDフォーラムを開催した。
- ・ 学習効果を向上させるため、授業の録画収録を順次進めている。
- ・ 役職者（学部長以上）の授業公開を実施した。
- ・ 新任教員スタートアップセミナーを年3回開催した。
- ・ 授業アンケートを、前期・後期末に実施し、結果及び分析を共有している。

イ) 看護学部FD委員会

- ・ カリキュラム共通理解のための看護教育学習会の開催（9月9日）
- ・ シラバス点検・授業改善のためのFDカフェ開催（3月23日）
- ・ 「シラバスの到達目標の共有化による授業改善」を受けてのシラバス点検および報告
- ・ FD委員会内規の検討
- ・ シラバス作成の参考資料および情報の提供
- ・ FD活動に関する提案事項・要望の収集
- ・ 助手対象の「実習指導についての学習ニーズ」を把握する会の開催

b 実施方法

- ・ FDセミナー・FDフォーラム等のFD活動には、年3回以上の参加を全教員に義務付けながら、参加を促している。また、参加状況については、教授会に報告されている。
- ・ 看護学部FD委員会ではワーキンググループを形成し、ワーキンググループから活動企画案が委員会会議に提案され審議を経て、実施を行なった。全学FD委員会に活動計画および費用について諮り、FD活動と承認を得たものについては学部FD予算を使用した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教員のためのスタートアップセミナー3回開催：出席率70%
- ・ 学士課程教育の充実に関するセミナー6回開催：出席率70%
- ・ カリキュラム共通理解のための看護教育学習会の開催（9月9日）31名中26名参加、参加率84%
- ・ シラバス点検・授業改善のためのFDカフェ開催（3月23日）31名中29名参加、参加率94%
- ・ 「シラバスの到達目標の共有化による授業改善」を受けて、シラバス点検ワーキンググループ3名で点検を行い、優良シラバスとして3科目を選出し、学部長に推薦し、学部長から全学FD委員長へ報告された。
- ・ 助手対象の「実習指導についての学習ニーズ」を把握する会の開催（11月3日）助手7名中7名参加
参加率100%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・共通科目では、科目担当者会議で到達目標や授業計画、内容について、実際のシラバスを提示しあい、意見交換を行った。その結果、到達目標の記述を「現実的かつチャレンジングなレベル」に設定することを、2014年度から適用することとなった。

専門科目は、共通科目に倣い、シラバスに記載する到達目標のレベル設定や記載方法を検討している。授業評価については、前期・後期の授業アンケート、授業収録アンケート結果の提示があり、結果の分析を共有するなどした。

看護教育学習会の開催によりカリキュラムに関する共通理解が図られ、さらに、シラバス点検・授業改善のためのFDカフェ開催を通して、自由な雰囲気のもと、教員相互の授業作りの工夫や目標達成のための取り組み、学生の授業外学修時間確保の工夫などを共有でき、それぞれの授業において活用が見られている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（前期・後期授業終了時に実施した：実施率100%）

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目のアンケート結果は、Web上の各科目のシラバス閲覧ページで学内限定で公開された。

大学共通科目全体のアンケート集計結果は、大学HP上で公開されている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「生命の尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の看護を実践できる人材の育成」を目指し、開設して2年、ほぼ設置計画どおり推移している。

また、本学が昨年「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択され、本学部の教育の特色のひとつである「グローバルマインドをもった看護師の育成」に対する関心が、学生の中でさらに高まっている。海外から招聘した教員による授業や、昨年実施した国際看護研修（フィリピン28名、アメリカ7名参加）の実施は、異文化理解を着実に促し、グローバルマインドの涵養に寄与している。

今後も、設置の趣旨・目的を達成できるよう教育活動に努めてまいりたい。

学生指導の面では、アドバイザー制が機能し、学生個々の学習上の課題に対する早期発見とそれへの対応ができています。

平成27年度の志願倍率は、定員80名に対し志願者総数は529名で、6.6倍であった。入学者は92名（男子10名）で、定員超過率は1.15倍であった。入学試験合格者のうち入学した者の割合が例年よりも高く、定員超過率がやや高めであるが、授業や実習運営等については支障なく対応できている。今後も、定員管理に留意しつつ、アドミッションポリシーに沿い、学生募集を推進していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年4月19日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（平成27年4月）

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価の結果、適合の認定を受けた。

・平成33年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を

含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成27年5月29日)

改正

平成22年3月27日規程第53号

平成23年9月13日規程第11号

平成26年12月20日規程第17号

創価大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 本学に、教員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる教員の教育研究活動の改善、充実の方策に関する事項を審議する。

- (1) 授業の内容及び改善の方策に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項
- (4) その他委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長の指名する副学長または副学長補
- (2) 教務部長及び教務部副部長
- (3) 各学部長
- (4) 学士課程教育機構長
- (5) 教育・学習支援センター長
- (6) 教務部事務部長
- (7) 学長が委嘱する教職員若干名

2 委員長は、前項第1号の委員をあてる。委員長に支障のあるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(任期)

第4条 委員の任期は、職務上委員となるものを除き2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は、委員長が必要と認めたときに招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。

(専門委員会)

第6条 委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員長及び委員は、委員会の議を経て、学長が任命する。

3 専門委員会の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総合学習支援オフィス学習支援課が担当する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月27日規程第53号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年9月13日規程第11号)

この規程は、平成23年9月13日から施行し、平成23年9月1日に遡及して適用する。

附 則 (平成26年12月20日規程第17号)

この規程は、平成26年12月20日から施行する。